

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は 2022 年度の日本陸連競技規則および本大会の競技注意事項により行う。
2. 出場種目の変更、代理出場は認めない。
3. 競技者招集場所は、100m 出発地付近とする。
4. 招集開始、打切時刻は予選、決勝ともに競技開始時刻を基準として次による。
但し、第一種目の競技は準備出来次第とする。

	トラック	フィールド
招 集 開 始	4 0 分前	4 0 分前
招 集 打切り	2 0 分前	2 0 分前

- (注) コールは予選、決勝とも本人が行うものとする。招集時刻に遅れた場合は出場を認めない。
5. リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を招集開始 1 時間前に競技者係主任に提出すること。(リレーオーダー用紙はプログラム内に掲載と競技者招集場所に備えてある)
*リレーマーカーは各自で粘着テープを用意し、レース後必ず次走者が取り除くこと。
 6. 決勝の番組編成は主催者にて公正に行い、競技者招集場所にて発表する。
 7. 中学校男女 4×100m、中学男子 1500m 及び中学女子 800m は、タイムレースにより順位を決定する。
 8. 不正スタートを行った競技者は失格とする。小学生は同じ人が 2 回不正スタートを行った場合、失格とする。ただし競技に参加できるが、記録は出ない。
 9. 走高跳の最初のバーの高さは女子が 1m10、男子が 1m30 とし、以後の上げ幅は 5 cm 刻みとする。
 10. 砲丸投・一般走り幅跳びは 3 回の試技でベスト 8 を決め、4 回目以降の試技を行う。
 11. 中学女子 800m は、オープンスターとする。
 12. 全ての用器具は主催者側で用意したものを使用のこと。
 13. 砲丸投げの練習については審判の指示に従うこと。
 14. 各種目の第 3 位までの入賞者を表彰する。(但し、小学生・中学生は 6 位まで賞状を授与。) 非公認種目、小学生には記録証を授与する。
 15. アスリートビブスは小さくしてはいけない。支給した大きさに胸、背につけること。(返却不要) 但し、走高跳、走幅跳は背または胸のみでよい。腰ナンバーは主催者が用意する。(返却のこと)
 16. 競技用靴について、以下のとおりとする。(TR5 に準じる)
 - (1) スパイクは、全天候用(爪の長さ 9mm 以内、走高跳は 12mm 以内)を使用のこと。スパイクピンの数は 11 本以内とする。
 - (2) 競技用靴の靴底の最大の厚さは以下の通りでなくてはならない。
トラック種目(800m 未満)：20mm、トラック種目(800m 以上)：25mm。
 17. 練習は、バックストレート外の練習場を基本として使用するが周回レースのない時間帯はバックストレートを開放する。練習中は、各々が事故防止に万全を期すこと。逆走は禁止する。
 18. 競技中の事故については、主催者で応急処置は行うが以後の責任は負わない。
 19. 新型コロナウイルス感染拡大防止にともなう注意事項
 - (1) 本大会は、無観客で開催。選手、顧問、指導者、引率者以外の入場は認めません。
 - (2) すべての入場者は、入場時に「体温管理チェックシート」を提出して下さい。
チェックシートを提出しない者の入場、大会への出場は、認めません。
当日 37.5℃以上の発熱のある者、体調不良の者は入場できません。
 - (3) 競技中以外はマスク着用の上、3 密を避け、ソーシャルディスタンスを保って下さい。

競技場内で出したゴミは各自分別して持ち帰ること。途中の駅やコンビニ等に捨てることは厳禁とする。